

第2回元町山手地区再整備基本構想・基本計画検討委員会県民会館部会 議事要旨

- 1 日 時 平成30年10月22日(月)10時00分～12時00分
- 2 場 所 兵庫県民会館 3階303会議室
- 3 出席者 別紙参照
- 4 内 容
※ 開会、あいさつ、委員紹介、資料の説明については省略するとともに、各委員等の発言内容は一部要約しています。

- | | |
|---------|--|
| (委 員) | 質問になるが、ホールはホールだけのフロアになるのか。 |
| (事 務 局) | 建物の配置や規模が決まっていないため、今後どのようなようになるかはわからないが、現時点ではホール階をイメージして作成したものである。 |
| (委 員) | <p>元町山手地区再整備の計画が出てから、華道や画家といった芸術家に意見を聞くと、機能としては今のままでも十分満足していると言っていた。充実した設備は必要だが、機能はそのままが良いという意見もある。音楽ホールについては最近評判が上がっているが、古い建物なので機能としては不十分である。</p> <p>搬入出のEVは大きいほうが良い。大きい荷物はEVからの移動も大変であり、廊下が狭くて方向転換ができない、フラットになっておらず搬入に労力が掛かる。楽屋やリハーサル室のドアも大きく取るなど、配慮した設計をお願いしたい。</p> <p>トラックから荷物を降ろす際に雨が降ったりすると非常に困るので、荷捌きする場所には屋根が欲しい。</p> |
| (委 員) | <p>ホールは嵩高いので、立体的に描いて頂いた方が分かりやすい。</p> <p>また、ホールはユニバーサルの視点が必要。車イスの方はどう入ってどう出て行くのか。今後、高齢者、障害者など利用する際の動線イメージができるような絵を描いてもらいたい。</p> <p>県民会館はオフィス機能も備えている。ホールを音楽利用(特に太鼓など)する場合は館内に音漏れが発生する場合もあり、入居している事務所からクレームが入ることがあるので、防音についても配慮が必要。</p> <p>ギャラリーについては、最大で3会場設けられるのであれば、控え室も同数必要になる。特別展示室は、外から見えること、高級感があることが重要な要素である。</p> <p>また、映像系の展示に対応できるよう、例えば天井にプロジェクターがつけられる設計にしておくなど、設計の段階で盛り込んでおく必要がある。</p> <p>茶室は、つくばいを設けた簡単な庭をつけるなど、日本の文化をより味わえる環境であれば良いと思う。</p> |

- (委員) 茶室の利用はどの程度か。
- (事務局) 定期的な教室と一般的には和室としての利用が多いが、毎日使われているものではない。
- (委員) 茶室のコンセプトは文化の拠点という視点からなのか、はっきり分かりやすくする必要がある。
- (委員) 階層ブロックの例にある全体像を踏まえて、ホールやギャラリーはどのあたりが使い勝手が良いのか。
- (委員) 300人から400人程度の集客であれば、E Vもそこまで混むことはないので、あまり制約はないのではないかと。
- (委員) ホールについて、反響板は特に音楽をメインにする場合には必要だが、兵庫県の伝統芸能なども公演するなど多目的に使われることも踏まえると、反響板の設置方法はよく考える必要がある。
出演者の方や裏方の方にも使い易い施設が良いので、動線を考える際には、出演者や裏方の方の意見も聞いた方が良い。
また、リハーサル室は大人数の楽屋にも対応することになると思われるので、ホールの上下階に設置するほうが良い。
- (委員) ホールの垂直方向の位置を考えると、構造的に柱を飛ばせるという意味では高層部に設置すると楽だが、一般的には低層階が好まれる。敷地が大きければ低層階に、敷地が狭いと高層階になることが多い。高層階になると搬入出E Vも高層階まで必要となる。垂直的な位置については、ある程度早く決めておいた方が良い。
- (委員) 県民会館の新たな配置箇所や規模が決まっておらず、根本的なことが分からないので意見を出しにくい。
- (事務局) 全体の話になるので、今は架空の場所で検討をお願いせざるを得ない。仮に南駐車場に建設するのであれば、敷地面積は今とほぼ変わらない。今回、平面図等のある程度具体的なものを作成したのは、イメージを持ってもらい、検討しやすくすることが狙いである。基本構想では平面図までは出さないため、あくまで意見をいただくために示したものである。
- (委員) 建物の配置の話をしたのは、現在の場所は県民にとって馴染みのある場所であり、別の土地への建替となるとアクセスや店舗などの周囲環境も考慮する必要があるためである。JR元町駅西口から県公館の横を通るルートは、県職員にとっては馴染みの道かもしれないが、一般県民からすると

通常のルートではない。JR元町駅西口を前提にした県民会館の配置場所にすることは、県民視線が抜けていると思われる。人の流れがあることを念頭に置いていただきたい。

憩いの場としての県民会館を考えると、緑が必ず見えるスポットが必要である。神戸らしい眺望を見ようと思うと、県庁方面に行く必要があるため、県民会館から緑が見えるスポットを作る必要がある。

基本理念の中に「人生100年時代」と謳っているが、参加することが主である文化創造の場を踏まえると、100歳の人が日常的に利用するとは思えない。この言葉が相応しいのか疑問である。具体的な数字ではなく、長寿社会といった言葉で十分ではないか。

ギャラリーだが、広さなどは良いと思うが、通路などに無駄がないよう、配置場所には工夫が必要。

特別展示室は、大展示室よりも小さいので、天井高はもう少し低くした方が良いのではないか。

茶室の立礼席には、どういったテーブルやイスを考えているのか。貧相なものを導入してしまうと、県のイメージとして悪くなるため、それなりに良い物が必要。専門家にヒアリングをして、必要なことは良く確認し、県のイメージを損なわないものを作る必要がある。

ホールだが、音漏れのことを考えると、低層階で良いのではないか。

(委員) 構造体と一体化していると音は建物の躯体を伝わってどこにでも伝わってしまう。経費は掛かるが、構造体の中に構造体と縁を切った別の部屋を作る必要がある。その場合、最上階は比較的やりやすいが、中層階となると四方八方を頑丈な構造体に囲まれているため手間が掛かる。

(委員) ギャラリーについては、特別展示室が外から見える位置にあれば、高層階でも構わないのではないか。ホールが下層にあった方が来る人も入り易く、EVの数も少なく設計できるのではないか。

(委員) 茶室だが、日本文化に親しむというコンセプトであれば、お茶だけで良いのか疑問である。華や能、狂言などもある。建物規模によってどこまで対応できるのかという話はあるが、そういったことも体験できる場になれば良いと思う。

立礼席は外国人の方向けなのか。

(事務局) 外国人の方がメインではなく、高齢の方や正座が困難な方など誰でも気軽にお茶を楽しんでもらうためのユニバーサルの観点から導入を検討している。

(委員) うはらホールは4、5階と施設の中層階にホールがあるため、ホールの配置はどの階でも良い。規模は300席から400席で使用料も安い方が若い

人は利用する。

先ほどから配置や規模がまだ決まっていないとのことだが、本当に整備ができるのか疑心暗鬼になっている。

基本理念のところで、近隣の観光資源との連携を提示していたが、県庁や議場も含めて身近に感じられるような各施設が連携した企画ができれば良い。

過去に県民小劇場を利用していたが、客席の中央に通路があり、色々な作品が出来て良かった。同じような作りにできないか。

(委員) 県民会館には、文化の分野だけでなく様々な分野の入居団体が事務所として入っているが、一緒に何か出来るのであれば、貸事務所として面積を使っても良いと思うが、単に貸事務所としての機能であれば、貸事務所よりも賑わいに面積を割いた方が良い。周辺の事務所を集約させるのであれば、何か基準を設け、一つのコンセプトをもって入居させるべき。

(委員) 賑わい機能と事務所機能を一つに考える事はできないか。現状、各事務所機能は閉鎖的であり、エントランスから目的地に向うとき「点から点」の状態になっている。例えば、各事務所の廊下壁をガラス張りにして、各事務所をショーケースのように並べ、それらを見た人の新たな発見に繋がるといような、「線のように繋がる状態」にすれば一つの賑わいが創造できるのではないか。

(委員) 民間企業ではオープンプラザなどが主流だが、外から見えることを嫌がる人もいることを考慮すべき。

賑わいについて、館内に整備することを前提に話をしているが、小さくても良いので外から人を呼べるように外にも作っていくべき。緑であったりイベントスペースであったり、外から来た人が興味を持つような仕掛けが良いと思う。

(委員) JR元町駅西口出口自体を賑わいにできないか。西口出口は階段を登る必要があるため、東口出口から回っている。ただ、県民会館の玄関も南側の入り口が分かりづらく入りにくい。

(委員) パルテホールのような宴会もできるスペースは作らないのか。会議室も会議の利用だけでなく、アトリエや稽古場など多種多様な目的の部屋を考えたらよい。

また、市バスの停留所が県庁周辺にはないため、坂道を登るのが辛い人にとっての交通アクセスが限られてくる。そのため、県庁近くに停留所を作ってもらうように市へ要請してはどうか。

(委員) 絵を描く部屋の洗い場は非常に汚く汚れるため、別の用途とは切り離し

て考えるべき。デッサン程度であれば問題はないが、特に油絵は汚れが目立つ。

(委員) 電動ではない車イスの方は、JR元町駅西口から北へ自力で上ることができず、また、東口からであっても坂道が続いているので、このあたりは非常に来づらい場所となっている。地区の性格づけとして重要な要素であり、全体の中でも、そのことは配慮していただきたい。

また、入り口が道路面だけではなく、例えば屋根のある歩道でエリアの各施設と県民会館までスムーズに移動できるような環境も念頭に置く必要がある。

賑わいはこういった層をターゲットにするのか整理すべき。観光の場合、観光バスが停留する場所もなければお土産を買うための店もないので、ワンストップサービスの体制が出来ていないため、人を集めるのは難しい。周囲にマンションが多いことから、貸し書斎も良いのでは。

1階部分には、フレキシブルに対応できるイベント広場があれば良い。雨天時のことも考えると、明石駅南の市民広場のような屋内が良い。

1階にレストランを設ける場合、ビジネス向けなのかそうでないのか中途半端なものにならないようにすべき。また、会館内でのパーティーもあるので、ケータリングもできる店舗とすべき。

(委員) ビジネスの視点でいくと、グランフロントやあべのハルクスなど大阪に人を取られている。例えば起業プラザひょうごが来年度には閉鎖となるので、コワーキングスペースやインキュベーション機能などをもったものが必要である。ただ、神戸産業振興センターや新長田に作ると大阪に人が取られる。神戸駅より西となると非常に厳しいので、三宮から元町までに作る必要がある。

県庁や県民会館の再整備は、人に来てもらうという意味で、非常に重要である。芸術文化の拠点であり、ビジネスの拠点であり、ホテルやサテライトキャンパスなども含めた人が集まる拠点として、一体となってこの地区を活性化させることで、県全体の活性化に繋がっていくと思う。このあたりに作ることで人が集まると思うので、この地区に設ける意義はある。

(委員) ホテルを誘致するのであれば、県民会館の高層階にホテルを作るなどの発想はないのか。

(事務局) 可能性としてはあるが、県民会館にホテルを作るとなると、相当高層の建物になる。

(委員) ホテルは人を呼ぶには手っ取り早い。神戸市内にホテルの数は少なく、利便性から言っても申し分ないのではないか。

(事務局)

貴重な意見をいただき感謝申し上げます。

今回は、主にホール、ギャラリー、茶室など芸術文化機能について、非常に具体的な話をさせていただきました。

本日いただいた意見や提言、全体会の意見も参考に、次回は県民会館の再整備の方針案を提示させていただくので、よろしくお願い申し上げます。